

今、何の病気が流行しているか！

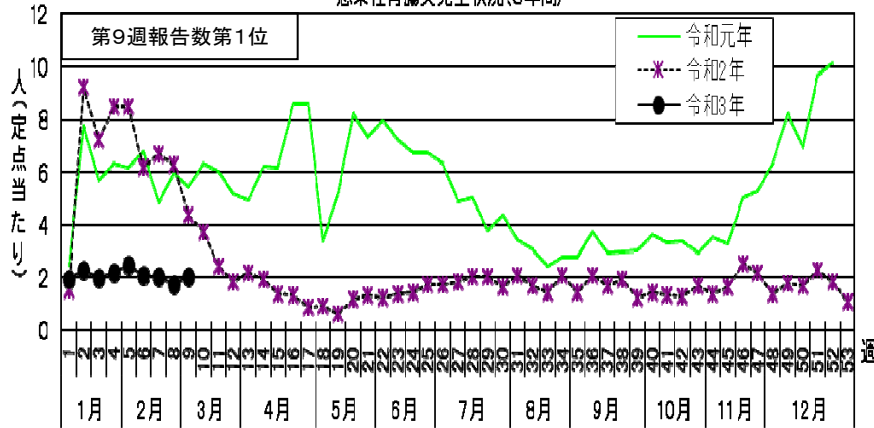
【感染症発生動向調査事業から】

令和3年3月1日（月）～令和3年3月7日（日）〔令和3年第9週〕の感染症発生状況

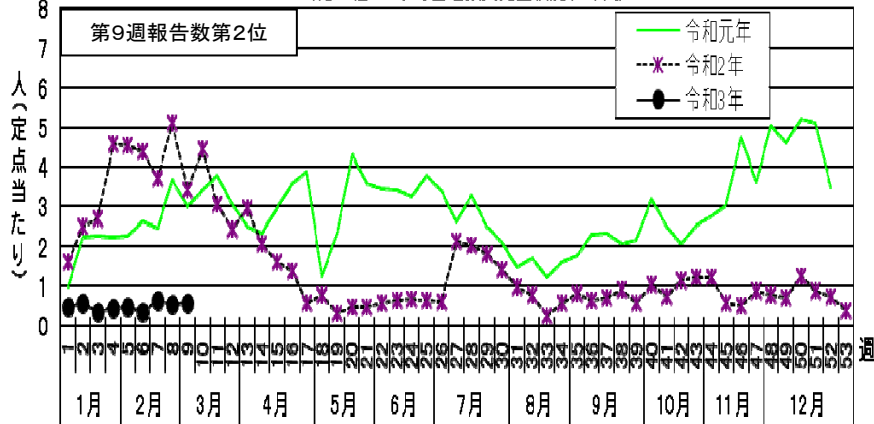
第9週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.03人と前週（1.69人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.56人と前週（0.53人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.42人と前週（0.25人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



高齢者向けの新型コロナワクチン接種が始まります！

我が国では、令和3年2月中旬にファイザー社の新型コロナワクチンが薬事承認され、医療従事者向けの先行接種が始まっています。新型コロナワクチンの接種については、一定の接種順位を決めて実施しており、4月以降は高齢者（令和3年度中に65歳に達する、昭和32年4月1日以前に生まれた方）を対象とした接種が始まる予定です。

川崎市においても、高齢者の方へのクーポン券（接種券）発送の準備を進めています。クーポン券は接種時に必要なため、お手元に届いたら大切に保管しましょう。

川崎市の接種体制

- ・事前予約制
- ・集団接種会場（教育文化会館や各市民館）や医療機関等で実施
※接種開始日、予約方法、接種会場などは詳細が決まり次第、市ホームページや市政だよりなどでお知らせします。
- ・接種日に川崎市に住民登録のある16歳以上の方が対象
※長期入院や長期入所など、やむを得ない事情がある場合は、住民票所在地以外でも接種が可能です。



現在国内で承認されている 新型コロナワクチン*について

※ファイザー社製

《ワクチンの種類》

- ・mRNA（メッセンジャーRNA）ワクチン
※mRNAは数分から数日で分解されるため、人の遺伝情報に組み込まれることはありません。

《接種回数・間隔》

- ・通常3週間間隔で合計2回、筋肉内に接種
※1回目の接種から3週間を超えた場合には、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。

《有効性・安全性》

- ・発症予防効果は約95%
（ワクチン接種群と非接種群の発症率から算出）
- ・主な副反応は、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛みなど
（症状の大部分は接種後数日以内に回復します。）
- ・まれな頻度でショックやアナフィラキシー（急性のアレルギー反応）が発生
（直ちに適切な処置が必要です。）

